

栃木米の食味・品質向上にご協力をお願いします!

雑草イネ



の侵入・拡大を防ぎましょう!

雑草イネが混じると品質が著しく低下し、甚大な損害になります

雑草イネとは??

雑草イネは栽培イネと同じ植物種ですが、収穫物への赤米混入被害をもたらす水田の強害雑草です。雑草イネは休眠性があり、ダラダラと発生する糶もあるため、除草剤でも一度には防除できません。

雑草イネが県内で

見つかりました!

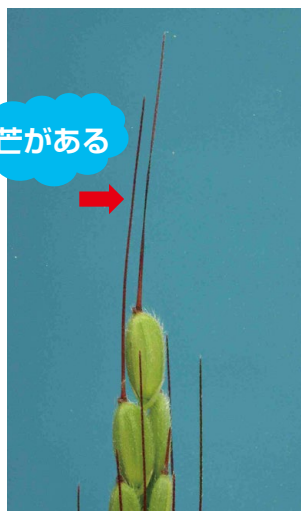
平成24年の秋に、県内で雑草イネの発生が、初めて確認されました。雑草イネは極めて脱粒しやすく、圃場に落ちた糶が翌年以降の発生源となり、どんどん被害が拡大します。

雑草イネの3つの特徴

- ① 芒が長い、着色している、稈長が長いなど姿が違う
- ② 脱粒しやすい(最大の特徴!)
- ③ 糶が褐変したり、玄米が着色する(赤～紅色)



ふ先に色がついている



芒がある



握ると糶が落ちる(脱粒)
風でも脱粒する



周りのイネよりも稈長が長く
早生(※遅生種もある)



雑草イネ玄米

コシヒカリ玄米

玄米は赤～紅色に着色



コシヒカリ



雑草イネ

糶の色が黒い

雑草イネは、古代米や在来の赤米とは違います。また姿形が普通のイネと異なりますが、脱粒しないイネは、通常の異株(雑穂)ですので混同しない様にしてください。

参考及び引用: 「雑草イネまん延防止マニュアル」

中央農業総合研究センター 平成24年2月

雑草イネの防除対策

雑草イネを見きわめよう！

県内で見つかったのは主に**県央～県東部**です。出穂期頃が発見しやすいので、稲の姿、芒の長短、脱粒しやすいかななどを目安に観察しましょう。

※周辺の圃場も観察し、侵入を未然に防ぎましょう。

●雑草イネを見つけたら 徹底的に抜き取る！

発見したら株ごと抜きます。雑草イネは出穂2週間後には脱粒が始まるので、できるだけ早く抜き取しましょう。また、遅れ穂もあるので何回か、時期をずらして抜き取ります。抜いた株は早急に圃場外に持ち出して処分します。抜ききれないほど繁茂している場合は、刈り分けましょう。



●発生した圃場の**機械作業は最後**に行い、 **機械を良く洗って**機械による拡散をさせない！

●発生した圃場は、**秋耕せずに**雑草イネの籾を鳥に食べさせ、 さらに**冬の寒さにさらして死滅**させる！

●自家採種のイネに混じっている事例があったので、 **必ず購入種子**を使う！

●次年度は**効果的な除草剤**を体系的に使う！

雑草イネが発生した圃場は、次年度に除草剤で発生を防止します。まず、田植後3日以内にソルネット、エリジャン等の初期剤を処理し、7～10日以内にヒエに強い一発剤、さらに中期剤の体系防除を行います。（品目はJAや振興事務所に確認してください。）

●玄米に雑草イネが混じったら**色彩選別機**でぬく！

※発生を確認したら、早めに徹底して抜き取るとともに、JAまたは最寄りの農業振興事務所にご連絡ください。